



Press release

2024年9月2日

アクサ生命、全国の経営者 12,839 人に聞いた『社長さん白書 2024』を発表 ～健康経営、従業員の心の健康と福利厚生制度、現状と課題は～

アクサ生命保険株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長兼CEO:安淵 聖司、以下「アクサ生命」)は、全国47都道府県の中小企業経営者を対象に実施した意識調査の結果に基づき、『社長さん白書2024』を発表しました。

本調査は、アクサ生命が共済・福祉制度をお引き受けしている商工会議所会員企業を中心に、全国の経営者12,839人に回答いただきました。2004年以来13回目となる今回は、従業員の健康づくり(健康経営®)や福利厚生制度、また、経営者自身の健康自慢などをお聞きました。

※「健康経営®」はNPO法人健康経営研究会の登録商標です。



【主な調査結果まとめ】

■健康経営を認知しているものの、実践に課題

従業員の健康づくりを重要な経営課題と位置づけ、生産性や企業価値の向上につなげる「健康経営」について、内容を知っている(「内容を知っており、取り組んでいる」または「内容は知っているが、まだ取り組んでいない」を選択)と答えた経営者は、約半数(48.0%)で、認知は昨年よりも1.2ポイント上昇しました。

そのうち、「内容を知っており、取り組んでいる」と回答した経営者が19.3%であるのに対し、「内容は知っているが、まだ取り組んでいない」と回答した経営者は28.7%と約3割に上り、引き続き健康経営の導入・実践のサポートを必要とする企業が多いことがわかりました。

■働き方改革を実践する企業は増加するも、心の健康状態を「把握できていない」と2割以上が回答

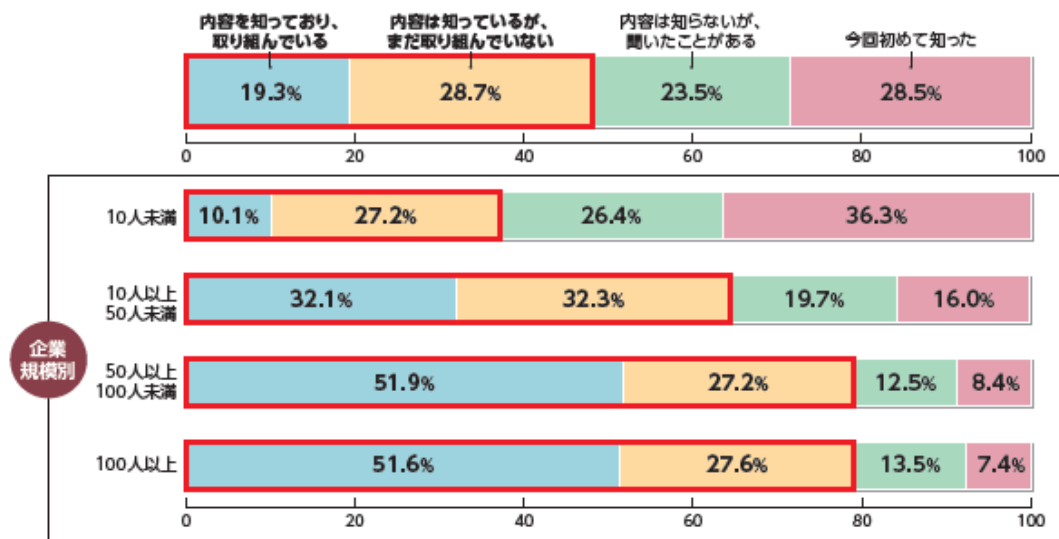
心と体の健康増進について会社内で実施していることを尋ねたところ、「働き方改革の実践」が昨年よりも5.8ポイント上昇し、37.0%となりました。「従業員の心の健康」については、経営者の28.0%が課題を認識している一方で、24.3%はその課題を把握できていないと回答しました。従業員が安心して働く環境を整えるためにも、まずは従業員の心の健康状態を把握し、課題を解決するための企業のサポート体制の構築が急務といえそうです。

■従業員の資産形成をサポートできている企業は少ない

従業員の福利厚生制度について、取り組みたいことで最も多かったのは、「有給休暇等休暇取得の推奨」(32.2%)、次に「退職金制度の整備」(31.4%)でした。一方、従業員がお金や金融、老後の資産形成について学べる研修については実施していない企業が64.3%となっており、退職金制度の整備とともに、従業員の資産形成を企業がサポートする機会の提供も課題として浮き彫りになりました。

調査結果

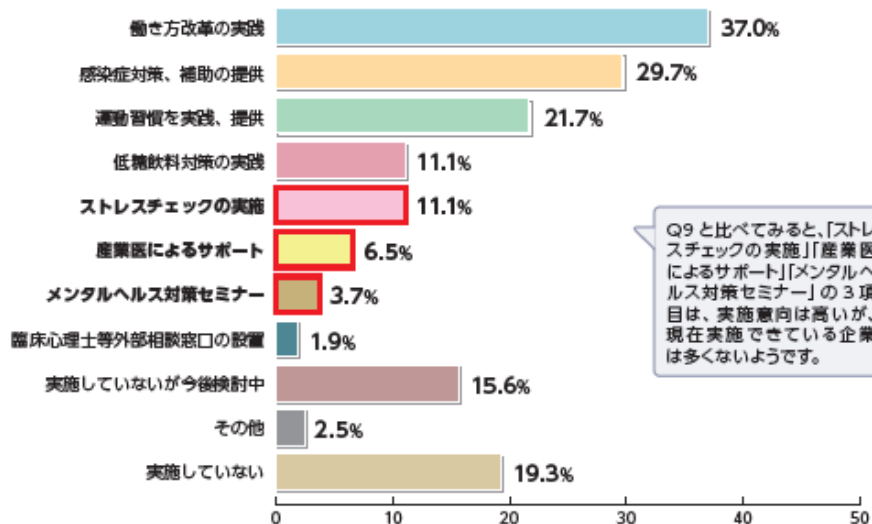
Q. 会社として、生産性を向上させ事業の継続と発展のため、従業員の健康づくりに取り組むことを「健康経営」と言います。「健康経営」をご存じですか？（単一回答）



*「健康経営」は、特定非営利活動法人健康経営研究会の登録商標です。

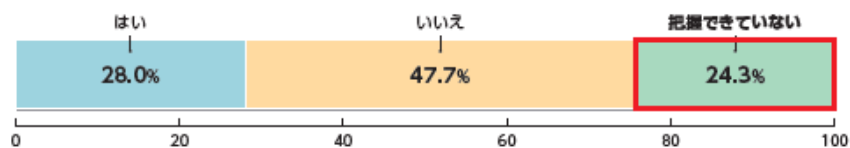
企業規模が大きくなるほど、健康経営への認知度・関心が高くなっていることがわかります。

Q. 経営者ご自身や従業員の心と体の健康増進について会社内で実施していることを教えてください。（複数回答）



Q9 と比べてみると、「ストレスチェックの実施」「産業医によるサポート」「メンタルヘルス対策セミナー」の3項目は、実施意向は高いが、現在実施できている企業は多くないようです。

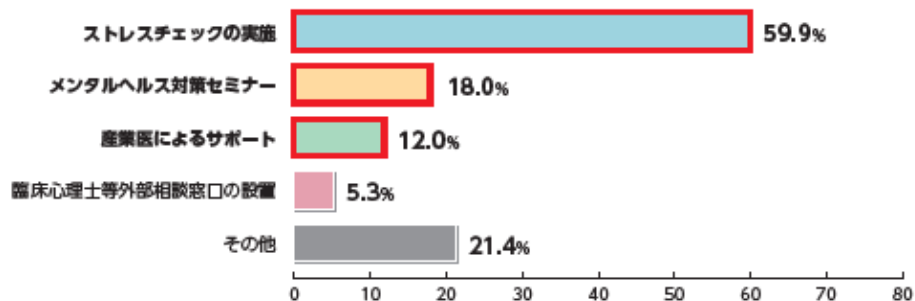
Q. 現在、従業員の心の健康に課題がありますか？（単一回答）



従業員の心の健康状態を「把握できていない」という点についても着目してみる必要がありそうです。

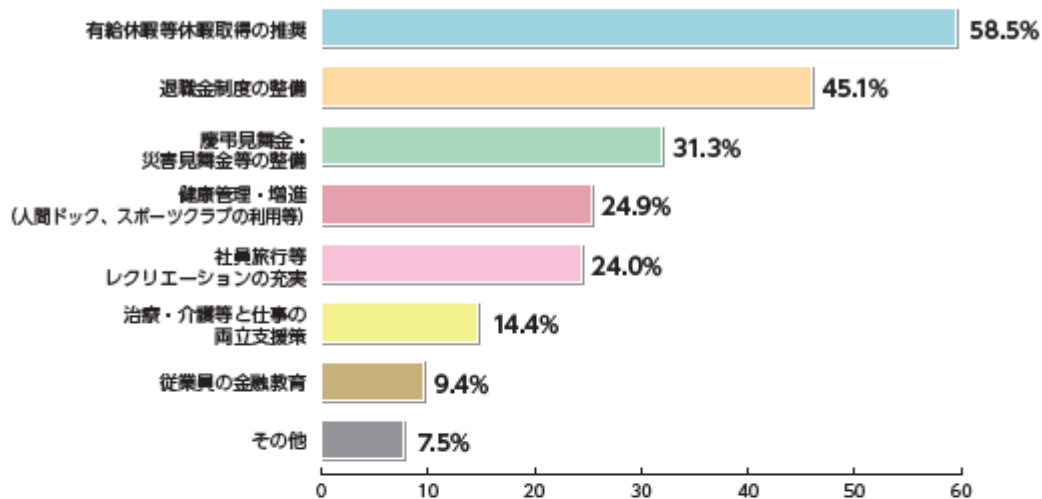


Q. 従業員の心の健康をサポートするために取り組みたいことを教えてください。(複数回答)

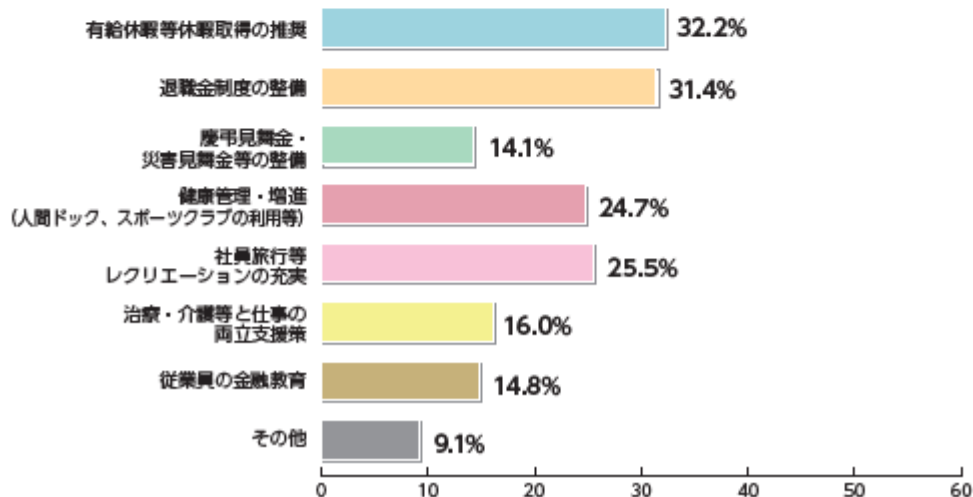


Q. 従業員の福利厚生制度で取り組んでいること、また、取り組みたいことはなんですか。(複数回答)

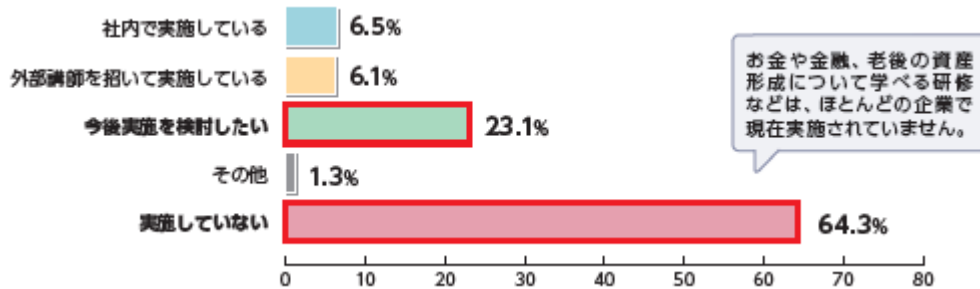
取り組んでいること



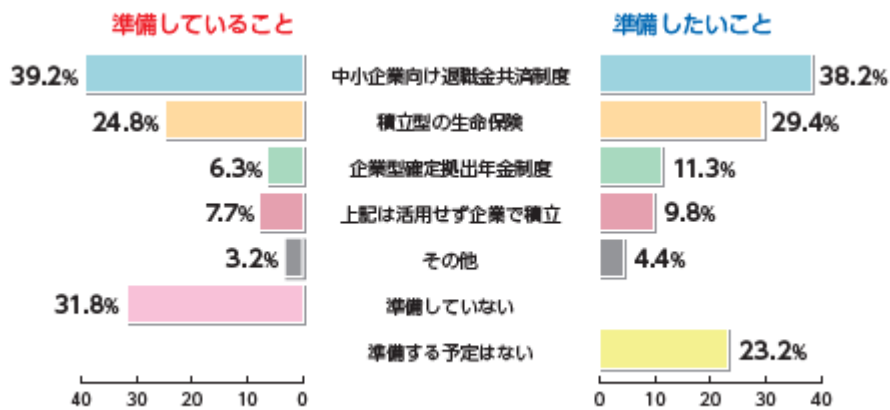
取り組みたいこと



Q. 従業員がお金や金融、老後の資産形成について学べる研修などを実施していますか？（複数回答）

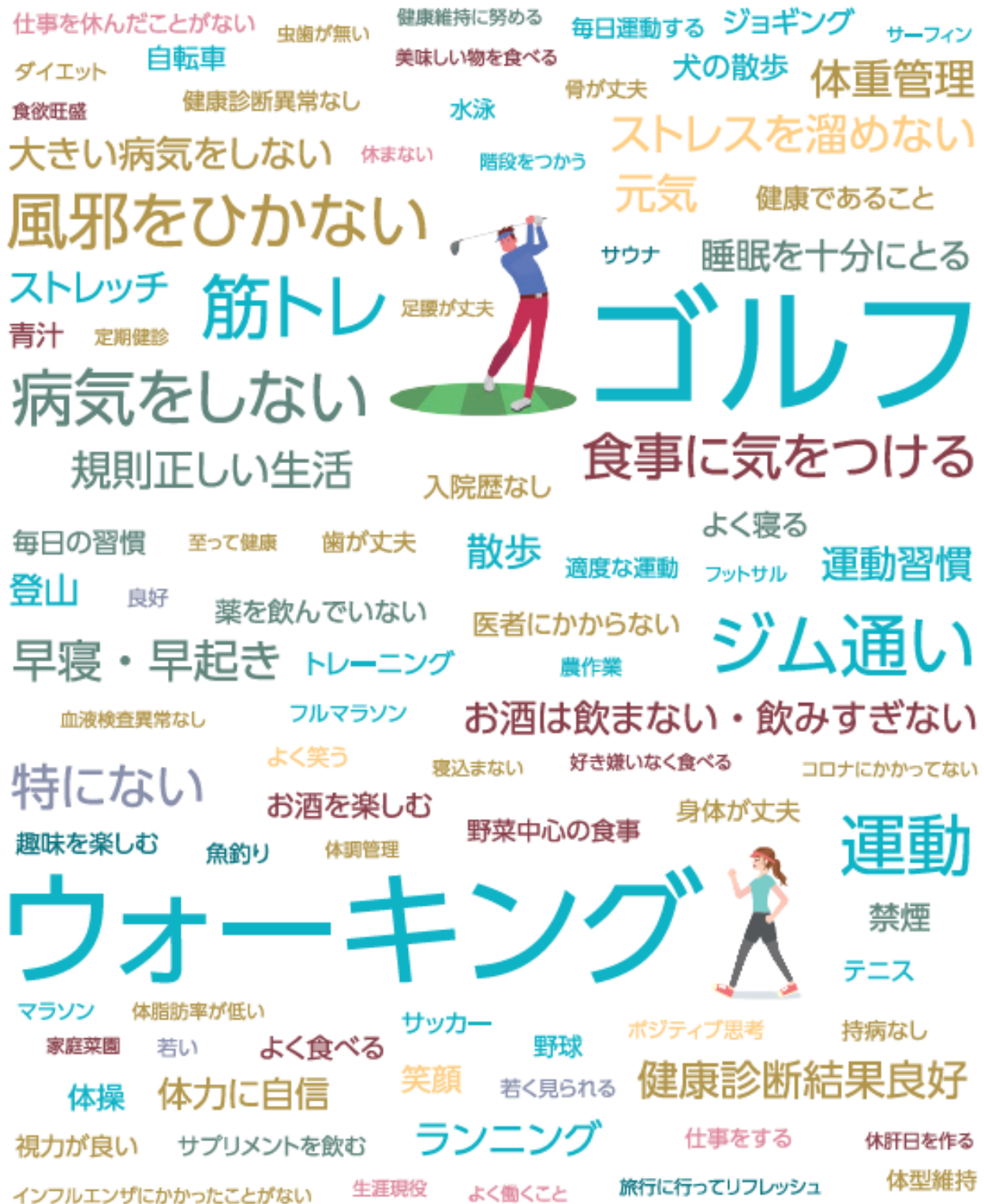


Q. 従業員の退職金はどのように準備していますか？また、どのように準備したいと考えますか？（複数回答）



Q. ご自身の健康自慢を教えてください。(* 回答上位のキーワードをテキストマイニングによって抽出しています)

ゴルフやウォーキングなど体を動かすことで健康を維持している経営者が多いようです。「好き嫌いなく食べる」など食生活を意識した回答も多くありました。





【調査概要】

調査期間: 2024年3月4日~5月31日

調査方法: ウェブアンケート

調査対象: 全国47都道府県の中小企業経営者

回答者数: 12,839名

※ 複数回答の場合は、回答者数を100%として算出しています。

※ 構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が必ずしも100%にはなりません。

アクサ生命は、本調査の結果を踏まえ、今後も経営者の皆さまのニーズにお応えする保険商品やサービスを開発し、よりよいパートナーとして質の高いアドバイスを提供することによって、企業の持続的発展をサポートし、活力ある地域社会づくりに資する取り組みを、地域のステークホルダーと連携して推進してまいります。

アクサ生命について

アクサ生命はアクサのメンバーカンパニーとして 1994 年に設立されました。アクサが世界で培ってきた知識と経験を活かし、301 万人のお客さまから 546 万件のご契約をお引き受けしています。1934 年の日本団体生命創業以来築いてきた全国 511 の商工会議所、民間企業、官公庁とのパートナーシップを通じて、死亡保障や医療・がん保障、年金、資産形成などの幅広い商品、企業福利の増進やライフマネジメント®（人生を経営する）*に関するアドバイスをお届けしています。2023 年度には、2,402 億円の保険金や年金、給付金等をお支払いしています。

*ライフマネジメント®はアクサ生命保険株式会社の登録商標です。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いいたします：

アクサ生命保険株式会社

コミュニケーション&サステナビリティ

電話：03-6737-7140

<https://www.axa.co.jp>

アクサグループについて

アクサは世界 51 の国と地域で 147,000 人の従業員を擁し、9,400 万人のお客さまにサービスを提供する、保険および資産運用分野の世界的なリーディングカンパニーです。国際会計基準に基づく 2023 年の売上は 1,027 億ユーロ、アンダーライティング・アーニングスは 76 億ユーロ、2023 年 12 月 31 日時点における運用資産総額は 9,455 億ユーロにのぼります。アクサはユーロネクスト・パリのコンパートメント A に上場しており、アクサの米国預託株式は OTC QX プラットフォームで取引され、ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックス (DJSI) や FTSE4GOOD などの国際的な主要 SRI インデックスの構成銘柄として採用されています。また、国連環境計画・金融イニシアチブ (UNEP FI) による「持続可能な保険原則」および「責任投資原則」に署名しています。

*アクサグループの数値は 2023 年 1 月~12 月の業績です。